

大学名 福島大学

第67号 特集テーマ「大学と新しい学び」

表題 「ふくしまSTEAMプロジェクト」を通じた大学でのSTEAM教育実践と地域でのSTEAM教育体制の構築

■ 特色ある取組



STEAMラボ準備室での学生の活動



STEAM研究発表会 (R4.12.24.コラッセふくしま)

福島大学では研究課題「福島型STEAM教育の開拓」のもと、次世代型STEAM教育体制の構築を進めています。現在、学類・大学院における学びと地域への貢献を一体的に実現する「ふくしまSTEAMプロジェクト」を進めています。

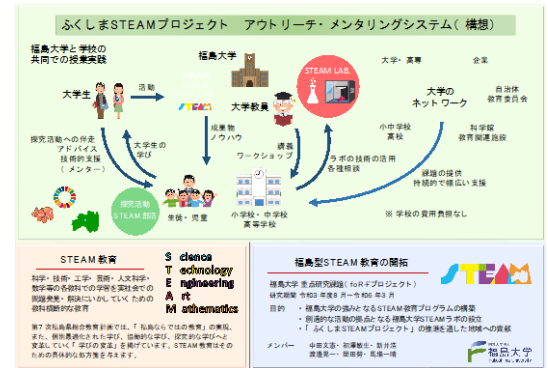
学生は、拠点となる「STEAMラボ準備室」に設置された3Dプリンタや電子工作機器・ロボティクス教材等を活用し、多様な活動を展開しています。令和3年度と4年度、各40名以上の学生が、デジタルアートや3Dアート、科学展示物の制作など、各自の興味に基づいた活動を進め、令和4年12月には学外での展示発表会も実施しました。例えば「町づくり」などの公共政策を専門とする学生が、「伝統文化と技術の融合」や「一期一会」をテーマに、デジタルアートと3D印刷を用いて「茶室」を演出するなど、Society5.0が目指す「人間中心の社会」にふさわしい、深みのある学びを展開しています。

プロジェクトでは、教育機関と企業等のネットワークで地域のSTEAM教育を支えるシステムの構築も目指しています。学生が学校等でのSTEAM教育に関わることで、地域の探究的で個別最適な学びをサポートできると同時に、学生は次世代型の教育を実践的に学ぶことができます。そのプロトタイプとして、高等学校と連携したワークショップの実践などを行っています。

■ 取り組みの経緯・期待できる成果

福島大学は令和3年度、「『21世紀的課題』が加速された福島での課題」の解決に結びつく4件の研究を重点研究分野（foR-Fプロジェクト）として指定しました。その一つが「福島型STEAM教育の開拓」プロジェクトです。福島県の課題や人的資源を前提とした大学におけるSTEAM教育体制の構築、教育委員会や学校・教育施設・企業との連携による福島県のSTEAM教育を支えるシステムの構築を目指しています。

「福島型STEAM教育の開拓」プロジェクトメンバー



「ふくしまSTEAMプロジェクト」における地域貢献構想 (アウトリーチメンタリングシステム) 概念図

福島大学 foR-Fプロジェクト
<https://www.fukushima-u.ac.jp/news/2021/08/009456.html>